



山形大学校友会
Yamagata University Alumni Association

校友会会報

21
MARCH 2023



令和4年度校友会大学院学生表彰 (校友会会長賞) 3年ぶりに表彰式を開催しました

Contents

校友会 NEWS 2

Home Coming Week 2022を開催しました
YAMAGATA UNIVERSITY
GIVING CAMPAIGN 2022を開催しました
山形大学フットサル大会を開催しました
山形大学卒業生等首都圏ネットワーク総会、
山形大学同窓生セミナーを開催しました

校友会学生幹事コーナー 4

TOPICS 6

INFORMATION 8

「交流プラットフォーム」の
サイトはこちらから
ご覧ください。



校友会キャラクター ぎんなちゃん
(登録商標第 6447093 号)

校友会とは…

校友会は、山形大学の発展に寄与するため、学生の学業及び課外活動等への助成並びに全学的なキャンパス間の交流活動に支援を行うとともに、会員相互の親交を回り、「山形大学コミュニティ」の醸成・強化に資することを目的としております。

| 校友会 | NEWS |

1 Home Coming Week 2022を開催しました



ステージイベント（花笠サークル四面楚歌）

山形大学校友会では、11月18日～27日までの10日間、初めての「Home Coming Week」をオンラインで開催しました。

今年6月に開設した「交流プラットフォーム」上の特設会場には、1,446名のユーザーから目標数を超える8,910回のページビューがありました。

卒業生をはじめ、多くの方にご覧いただき、誠にありがとうございました。長引くコロナ禍ではありますが、引き続き、山形大学コミュニティの醸成・強化に努めてまいります。



学長とぎんなちゃんの対談、新グラウンドを疾走する事務局長、四面楚歌の演舞等々、大好評のうちに終了した「Home Coming Week 2022」サイトがアーカイブになりました。ぜひご覧ください！

スマホで
サイトを
チェック！



Home Coming Week アーカイブ

2 YAMAGATA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN

2022を開催しました YAMAGATA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN



参加者数 3,375人

山形大学は、Giving Campaign 2022に参画し、11月19日（土）～11月27日（日）の9日間、オンラインチャリティイベント「YAMAGATA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN」を実施しました（後援：山形大学校友会、運営会社：株式会社Alumnote）。

本学からは21の学生団体が参加し、3,375名の方から応援投票をいただくとともに、79名の方から総額1,743千円のご寄付を賜りました。いただいたご寄付は、「山形大学基金（<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>）」を通じて、各学生団体に配分し、活用させていただきます。

今回初めて主催したGIVING CAMPAIGNでしたが、多くのご支援を賜り、誠にありがとうございました。

Giving Campaign 2022とは（（株）Alumnoteより）

教育・研究領域への寄付文化醸成を目的とした、全国約20の国立大学および大学生の活動を支援するオンラインチャリティイベントです。

全国の企業から募った協賛金を、イベント期間中に各国立大学の大学関連団体（部活動・サークル・研究室など）が集めた応援数などに基づいて、各国立大学の基金および大学関連団体に寄付が分配される取り組みとなっており、イベント期間中には大学関連団体を応援する個人からの寄付も可能となっています。



YAMAGATA UNIVERSITY GIVING
CAMPAIGN 2022

令和4年度に実施した事業の中から、特徴ある4つの事業を紹介します。

3 山形大学フットサル大会を開催しました



集合写真

10月30日(日)、山形大学農学部体育館において、山形大学フットサル大会が開催されました(農学部主催、校友会支援事業)。

コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となったこの日は、小白川、米沢及び鶴岡キャンパスから約50名、5チームが参加して優勝を競いました。

開会式では、来賓として出席した校友会の樋口浩朗事務局長が挨拶し、Winner'sの中目祐之進さんが選手宣誓を行いました。試合は、1試合15分(ハーフタイム3分)の総当たり戦で、午前午後の部で全10試合、熱いフェアプレーが繰り広げられました。

閉会式では、斉藤勤也農学部事務部長から成績が発表され、優勝したWinner'に、村山秀樹農学部長と玉手英利校友会会長の連名による賞状と優勝盾が送られました。最後は実行委員長の佐藤静歩さんが「来年もお会いしましょう!」と閉会を宣言。「学部間の枠を超えて学生同士が交流」という校友会支援事業に相応しい大会となりました。(大会の様子は、校友会YouTube(<https://youtu.be/WImUIEmw5Pk>)チャンネルでご覧いただけます)



対戦後の挨拶

4 山形大学卒業生等首都圏ネットワーク総会、山形大学同窓生セミナーを開催しました



大泉会長の挨拶

3月4日(土)、ビジョンセンター東京駅前において、令和4年度山形大学卒業生等首都圏ネットワーク(以下、ネットワーク)総会と山形大学同窓生セミナーを開催しました。

このネットワークは、「首都圏に居住又は勤務する山形大学の卒業・修了生及び教職員等との連携協力を図り、首都圏の山形大学卒業生等のコミュニティを醸成・強化し、山形大学の発展に貢献する」ことを目的として平成25年に発足したもので、対面で人数を限定しない総会としては3年ぶりの開催となり、オンラインも含め約70名が出席しました。

冒頭、大泉征雄会長(米沢工業会東京支部)が、「本日10回目の総会を開催できるのも各同窓会支部等の会長、支部長さんの各同窓会支部会員への出席呼びかけのおかげ」とお礼をのべ、来賓の玉手英利学長(校友会会長)は、「ここ首都圏において山形大学コミュニティの醸成・強化のためにご尽力いただいていることに対して、学長として厚く御礼申し上げます」と述べました。

総会では、ネットワーク規約が改正され、4月から米沢工業会の栃木・群馬・茨城の各支部長が協議員として加わることを了承したほか、4月からの次期役員案として、以下の案が了承されました。

会長	市岡正彦氏(蔵王会関東地区支部長)
副会長	高橋慶一氏(蔵王会関東地区支部)
協議員	各同窓会支部等の長
幹事	校友会事務局長
顧問	小山清人氏(前山形大学長) 大泉征雄氏(前ネットワーク会長)

総会終了後には、令和4年度山形大学同窓生セミナーが開催され、校友会学生幹事の佐藤珠穂子さん(人文社会科学部1年)と佐藤圭さん(農学部1年)の進行で、ネットワーク副会長の朝倉喩美子氏による卒業生講演「よりよく生きるを考える」、学生の活動紹介が行われた後、初企画として三井住友信託銀行仙台支店による「資産活用セミナー」が行われ、最後はネットワークの松山正弘副会長の閉会のあいさつでお開きとなりました。



グループワークの様子

校友会 学生幹事コーナー

第56回山形大学八峰祭に学生幹事が出店しました

10月22日(土)、3年ぶりに開催された八峰祭において、校友会学生幹事がW芋煮を出店しました。

好天に恵まれたこの日は、朝から嶋田賢資さんをリーダーとする学生幹事6名で準備を行い、11時過ぎに「W芋煮」を販売開始しました。「W芋煮」とは、内陸風(醤油味・牛肉)と庄内風(味噌味・豚肉)の2つの味を300円と100円の2つの価格で食べられる今回初の設定です。

なお、今回の出店は校友会の矢口敦則理事(学長推薦)の発案で、学生幹事と各学部同窓会等との交流の機会として企画されました。学生幹事の出店ブースには、ふすま同窓会の野村一芳会長(校友会理事)や地域教育文化学部同窓会の渋谷光夫会長(校友会副会長)が来店され、芋煮をご賞味いただきながら、学生幹事や来店する学生等と交流を深めました。

販売開始した芋煮は、会計前に行列ができるほどの盛況で、90分足らずで完売いたしました。



大忙しの学生幹事



皆様お疲れさまでした

「山大生の活動支援プロジェクト(VI)」成果発表会を開催しました

「山大生の活動支援プロジェクト(VI)」成果発表会は、基盤教育棟111教室にて、2月17日に開催されました。今回の発表会には、「山生活動支援プロジェクト」「山形大学と交流する会プロジェクト」から、5つの学生団体による10分間の活動に関するプレゼン発表と、活発な質疑応答が行われました。

まず初めに、山形大学花笠サークル四面楚歌の発表がありました。花笠まつりだけではなく、東北絆まつりなど40件以上からの依頼で、演舞を披露しているそうです。さらに、スペインでの演舞の依頼もあったことを報告していただきました。

次に、模擬裁判実行委員会からの発表がありました。山形テルサにて「ヤングケアラー」というテーマで裁判劇を行ったのはもちろんのこと、SDGs関連のイベントへの参加や、「輝く県民活躍大賞」も受賞しました。

その次に、山形大学 SCITA センター学生スタッフからの発表がありました。学部や通学の都合で、人数が懸念されているために、安心安全な実験教室開催のための学習会を行ったそうです。

さらに、Team道草の発表もありました。昨年度の「輝く県民大賞」を受賞したとのこと。最上地方での地域イベントに参加していますが、「食の分野に特化した特産品の少なさ」を

課題に感じ、そばを作成する活動を始めたようです。

最後に、放送研究会の発表がありました。NHK放送コンクールでは、音声CM部門で第二位を受賞しました。山形の美しい、いきいきした映像を撮りたいというテーマのもと、山形に関する紹介動画を作成し、YouTubeでも投稿したそうです。

発表がすべて終了した後、プロジェクト代表者の飯塚博理事・副学長から、「素晴らしい発表をありがとうございました」との講評をいただきました。

私がこの発表を聞いていて思ったのは、サークル活動が、一種の「窓」になっていることです。校友会並びに同窓会、さらには地域の皆様と、山形大学をつなぐ「窓」。誰もが活動を見ることができ、誰もが活動に参加することもできます。しかし、「窓」は、今回発表していただいたサークルだけじゃないはずです。山形大学には、ほかにも魅力的な活動を行っているサークルがありますから。

最後に、校友会は、これからも学生の幅広い活動を支援していきたいと思っています。来年度もぜひ、多くの皆様のご参加、心よりお待ち申し上げます。

校友会学生幹事 佐藤珠穂子(人文社会科学部1年)



活発な質疑応答



最後に記念写真

【学生幹事企画】初の米沢キャンパスツアーを実施しました

2月14日(火)、校友会学生幹事2名と元幹事1名の学生3名が、米沢キャンパスツアーを実施しました。

これは、校友会学生幹事が企画したもので、所属するキャンパス以外のキャンパスを訪問し、総合大学としての山形大学の多様性を学ぶとともに、先輩学生や当該学部同窓会等と交流し、縦と横の山形大学コミュニティの醸成・強化を図ることを目的としています。

企画自体は3年前から発案されていたのですが、コロナ禍の影響で実施できず、今回は来年度の参加学生公募制という本格実施を見据えての実施となりました。参加した小笠原彩聖さん(人文社会科学部4年)は、「山形大学はキャンパスが分散していて学部外の繋がりが希薄になってると前はデメリットしか思っていないのですが、米沢にキャンパスがあることが米沢市内に活力を与えているんだと改めて実感しました」と感想を述べました。

当日の内容は以下の通りです。

スケジュール

参加学生：令和4年度校友会学生幹事

小笠原彩聖(人文社会科学部4年)

佐藤珠穂子(同1年)

先輩学生幹事(R元・2)

豊田 彩人(工学部4年)

随 行：校友会事務局 樋口浩朗

8:50 小白川出発

10:00 米沢キャンパス着
有機材料システムフロンティアセンター
(11号館)等見学
2階未来ホール、展示コーナー
説明：大場好弘特任教授
(前山形大学理事・副学長)

4階ソフト&ウェットマター研究室

説明：小川純准教授

2階VRスタジオ、

説明：鈴木秀茂技術員

12:00 昼食

13:15 (一社)米沢工業会様訪問
大沼理事長へのご挨拶、情報・意見交換

14:30 旧米沢高等工業学校本館
(国指定重要文化財)見学
ご案内：山崎洋一郎名誉館長

17:00 小白川キャンパス着

《学生幹事のレポート》

6つの学科があり、幅広い研究分野を持つ山形大学工学部！

米沢には時々行きますが、キャンパス内をちゃんと見たことがなかったので、見学してきました。

研究室見学をしたり工業会でお話を聞いたりすることができました。研究室ではロボット、3Dプリンターなどについて学びました！また、VR体験もしました！ほんとに目の前にあるみたいだった！

山形大学はキャンパスが分散していて学部外の繋がりが希薄になってると前はデメリットしか思っていなかったけど、米沢にキャンパスがあることが米沢市内に活力を与えているんだと改めて実感しました。

意外と分散してるほうが地域にとってはいいのではないかと思います。

自分の専門分野だけでなく、横断的に学び知識をつなげること、そして明確な目標を持ち、将来設計をたてることも意識していきたいです！

校友会学生幹事 小笠原彩聖(人文社会科学部4年)



大場特任教授の説明@展示コーナー



大沼理事長との懇談



「各学部同窓会・後援会、校友会と山形大学との情報交換会」を開催しました

12月19日(月)、法人本部第一会議室にて、「各学部同窓会・後援会、校友会と山形大学との情報交換会」をオンライン併用で開催しました(出席者18名中9名がオンライン)。

この会は、各学部同窓会・後援会、校友会そして山形大学の連携を密にし、各組織における運営上の諸課題や将来像等について意見や情報を交換することによって、互恵的協



会場の法人本部第一会議室

働関係を構築することを目的とするもので、今回が6回目の開催となりました。

冒頭、玉手英利学長(校友会会長)が、コロナ対策とそれに対する各学部同窓会等へのご協力に対し感謝の意を表しました。次いで、矢作清理事・副学長が11月に実施した「ホームカミングウィーク」と「ギビングキャンペーン」の結果について報告を行いました。その後、各組織及び山形大学からの現況報告があり、特徴的な取り組みや課題等の情報を共有しました。

最後の自由討議では、共通する課題である会員数の減少や、現役学生との繋がりや弱さ、支部活動の活性化等について、活発な意見交換が行われました。

今回の情報交換会で出された内容を踏まえ、山形大学としては、互恵的協働関係の構築によるステークホルダー経営の実現を、校友会としては、令和5年度事業「基本方針」案の策定を進めることが確認されました。

令和5年度から学生2名が校友会理事に！ ～第35回理事会で会則改正～

2月20日(月)、法人本部第一会議室において第35回校友会理事会を開催しました。

今回もオンラインを併用し、出席理事18名のうち11名はオンラインでの参加となりました。議題は、以下のとおりです。

1. 令和4年度大学院学生表彰者(校友会会長賞)の決定について
2. 令和4年度校友会支援事業の進捗状況について
3. 令和5年度校友会支援事業の基本方針(案)等について
4. 山形大学校友会会則の一部改正について
5. その他



議題4では、校友会会則に学生幹事会の規定を新設し、同会が選出した幹事長と副幹事長を校友会理事とする改正案が承認されました。

令和5年度からは、学生2名が校友会理事として運営に参画し、より学生目線の事業を展開してまいります。



理事会オンライン画像

令和4年度ティーデマン・ふすま賞授賞式・講演会 に出席しました

10月22日(土)、理学部1号館内教室において、ふすま同窓会主催の「ティーデマン・ふすま賞授賞式・講演会」が開催され、校友会事務局から樋口浩朗事務局長が出席しました。

冒頭、野村一芳会長から、挨拶並びにティーデマンふすま賞の説明が行われ、山形大学の矢作清理事・副学長が来賓祝辞を述べました。その後、並河英紀理学部長が、「3名の受賞者の論文は、いずれも伝えたいことが明確でわかりやすい内容でした」と、審査報告を述べました。

後半は、3名の受賞者から15分程度で論文内容の講演が行われました。3名の受賞者名と論文タイトルは以下のとおりです。

川村菜々子さん

山形大学人文社会科学部人文社会科学科卒業
「郡山遺跡の考古学的研究－I期官衙の機能と周辺集落遺跡の分析－」

管 佑真さん

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程1年
「IXPE衛星によるブラックホールスピンの観測可能性」

猿田周朔さん

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程修了
「噴火模擬実験および数値流体力学に基づく火山岩塊の運動メカニズム」



野村会長あいさつ



集合写真

山形県東京連合会賀詞交歓会に出席しました

山形県人東京連合会の賀詞交歓会が、1月22日(日)タワーホール船堀(江戸川区)にて開催されました。

山形県人東京連合会は、首都圏各地の県人会、出身の市区町村別の県人会、並びに高校の同窓会や賛同する企業等から成る連合組織で行政も参加しています。校友会からは、矢口敦則理事(米沢工業会東京支部)が出席しました。

交歓会では、来賓のご挨拶、県民歌の斉唱の後、正月ら

しく酒樽が開けられ、民謡や日本舞踊も披露されました。

参加者からは、「親戚が山形大学に通っている。」「講演いただいた先生がお元気にされているか。」とか「山形大学がマスコミに取り上げられるたびに誇らしい気持ちになる。」等々対面ならではの山形大学とのつながりや応援の言葉を多くいただき、首都圏における山形大学コミュニティーを改めて感じ入る交歓会となりました。



交歓会会場



酒樽を開ける来賓者の方々

「交流プラットフォーム」への登録案内

6月1日(水)、校友会サイト内に「交流プラットフォーム」を開設しました。

本サイトは、小白川・飯田・米沢・鶴岡の4キャンパスのイラストマップを掲載し、公認サークル、研究室、関連施設の情報収集と、「いいね!」や投稿による交流ができるほか、四季折々の風景をドローンや360°カメラで撮影した動画・画像で楽しむことができます。利用については、通常のサイト同様に閲覧できるほか、3種類(「交流会員」、「正会員」、「卒業生会員」)のカテゴリーに登録いただくことにより、よりユーザーニーズに適った交流が可能となっています。

「山形大学将来ビジョン」の「つながりから。」のDXツールとして、本学学生・教職員はもとより、卒業生、保護者、地域の皆さま等、本学に関わるすべての方のご利用をお待ちしております。



「交流プラットフォーム」のサイトはこちらからご覧ください。



メールマガジンへの登録及び卒業生寄稿のお願い

●校友会では、メールマガジン「みどり樹通信」を毎月配信し、山形大学や校友会に関する情報を提供しています。メールマガジンは、校友会ホームページ上から簡単に申し込みができます。



●卒業生の皆さまからの寄稿を広く募集しています。山形大学や在学生への応援メッセージ、学生時代の思い出などなんでも結構です。
※ご寄稿いただける場合は、校友会事務局までお知らせください。

読者アンケート

読者アンケートを実施しています。皆さまとの双方向コミュニケーションを図り、この会報が「山形大学コミュニティの醸成・強化」に貢献できるよう内容を充実してまいりますので、是非ご協力願います。



校友会への入会案内

山形大学校友会に未だ加入されていない卒業生の皆さまへ(お願い)

校友会は、学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的な交流活動の支援を行うと共に、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しています。具体的な事業は、会報に掲載しているとおりですが、これらの事業は、在学生、卒業生、役員、教職員及び本会趣旨賛同者の生涯会費(1万円)により行われています。

ついで、多くの皆さまにご加入をお願い申し上げます。会員(入学時加入会員除く)の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付しています。

山形大学コミュニティ



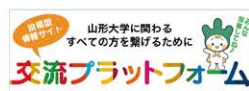
大学の発展に寄与



2006年発足の校友会の会員は2022年3月時点で約3万人です。



各ステークホルダーをサポート



校友会公認キャラ「ぎんなんちゃん」

入会申込手続き: 払込取扱票に必要事項をご記入の上、『郵便為替』により生涯会費1万円をお振り込みください。(払込取扱票は、校友会事務局にありますので、ご連絡ください。)

入会日: 会費の納入により入会となります。

編集後記

社会はWith コロナに向けた新たな段階への移行に動いています。穏やかな普通の日常がもどり、たくさんの友人と語り合いながら、楽しく有意義なキャンパスライフを送れることを期待します。

これからも校友会は、山形大学のコミュニティの醸成・強化に努めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(校友会事務局次長 鈴木)

山形大学エンrollment・マネジメント部
山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185

E-mail:yu-kouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉<https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会HP



Twitter



Facebook



Instagram